



令和2(2020)年3月7日

脱炭素型ライフスタイル・イノベーションシンポジウム

気候変動に対する 栃木県の取組

栃木県環境森林部地球温暖化対策課長

高梨 弘幸



目次

- 1 栃木県の気候変動対策について
- 2 栃木県の状況と課題
- 3 ライフスタイル変革に向けた取組
- 4 まとめ



1 栃木県の気候変動対策について

本県のこれまでの取組

再エネの導入拡大

- とちぎサンシャインPJ
- とちぎの水活用PJ など



省エネの推進

- エコカー普及促進PJ
- エコな人づくりPJ
- エコな暮らしPJ など



住宅用太陽光発電

普及率 **3** 位^{※1}

ZEH補助金交付決定

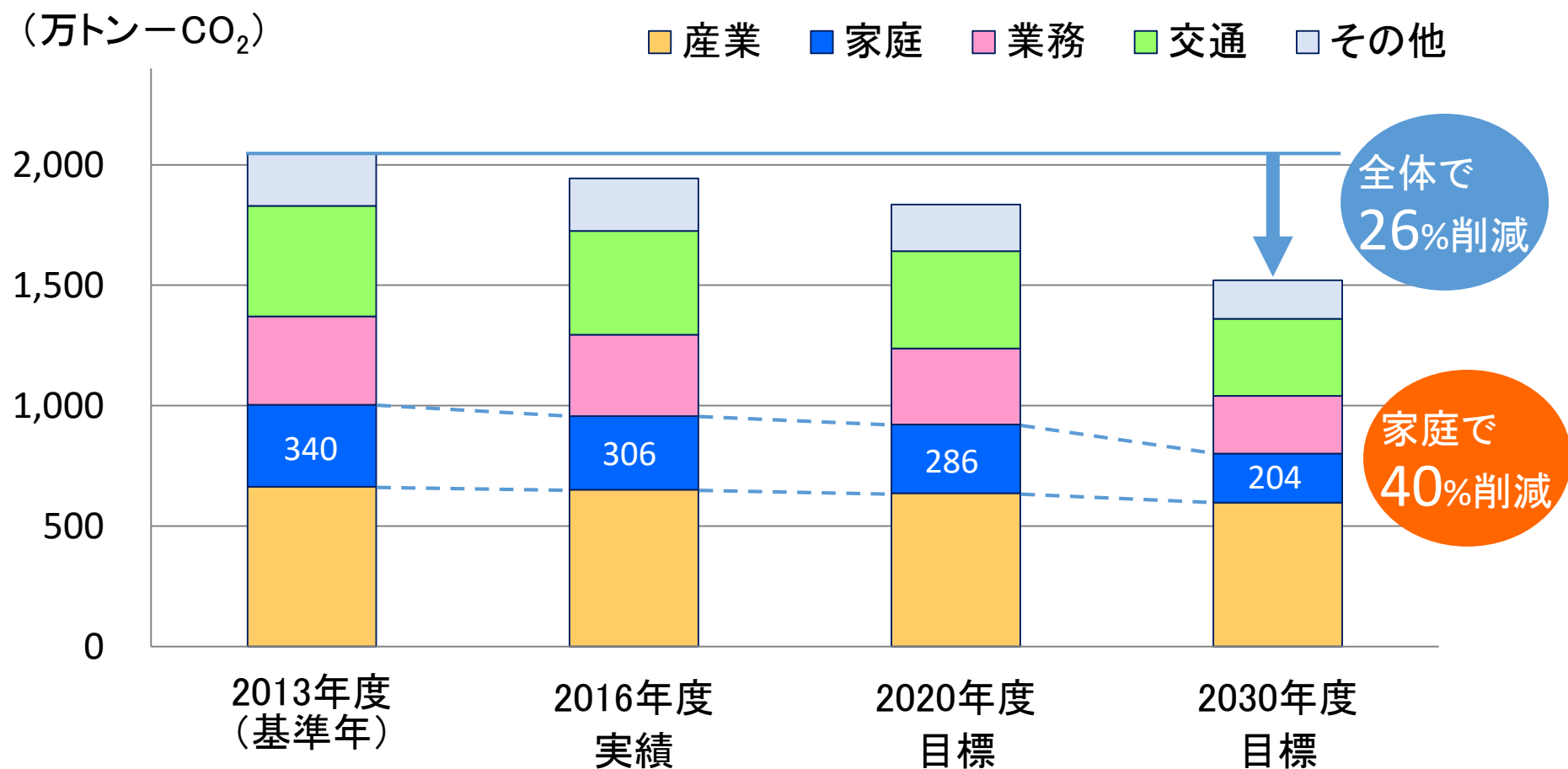
シェア **2** 位^{※2}

一般家庭ハイブリッド車

導入率 **2** 位^{※1}



栃木県の温室効果ガス排出削減目標





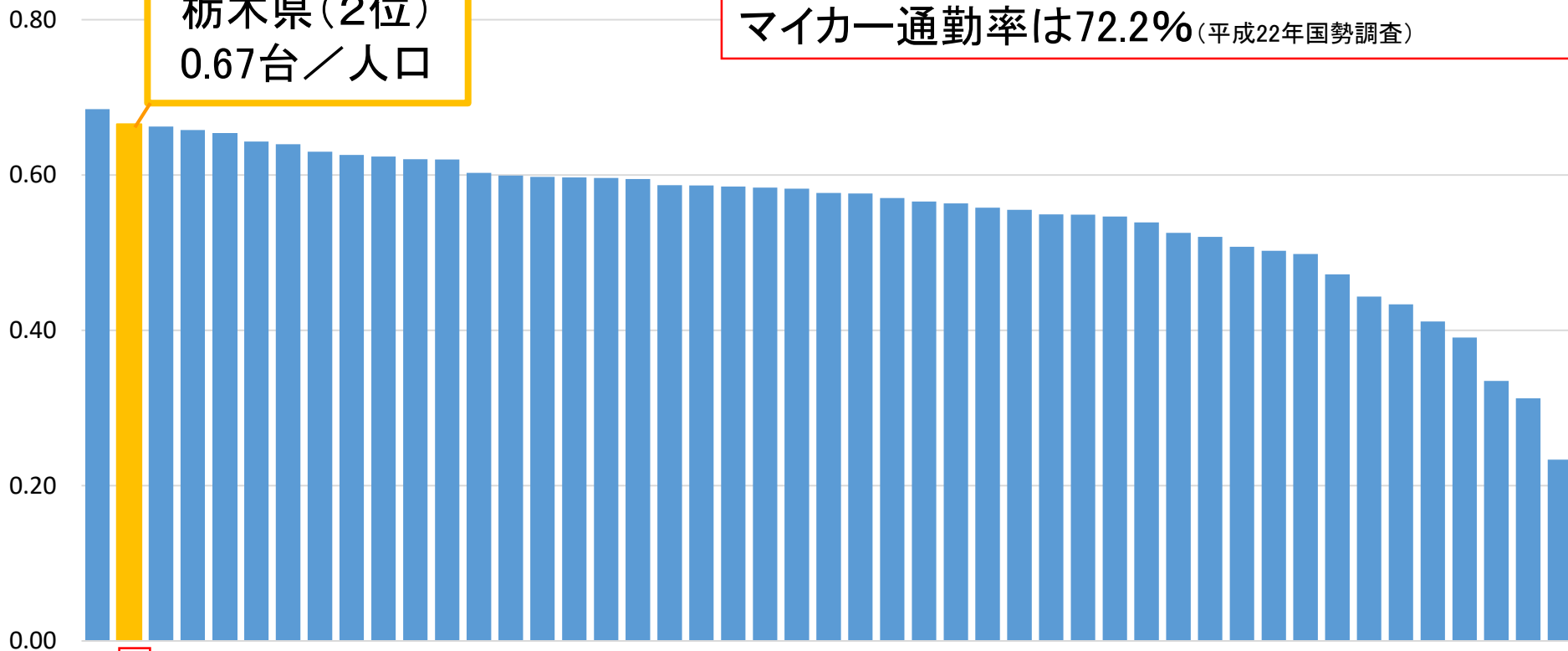
2 栃木県の状況と課題

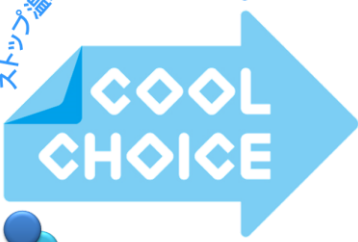
(台/人口)

人口当たりの自動車保有台数 (平成30年3月現在)

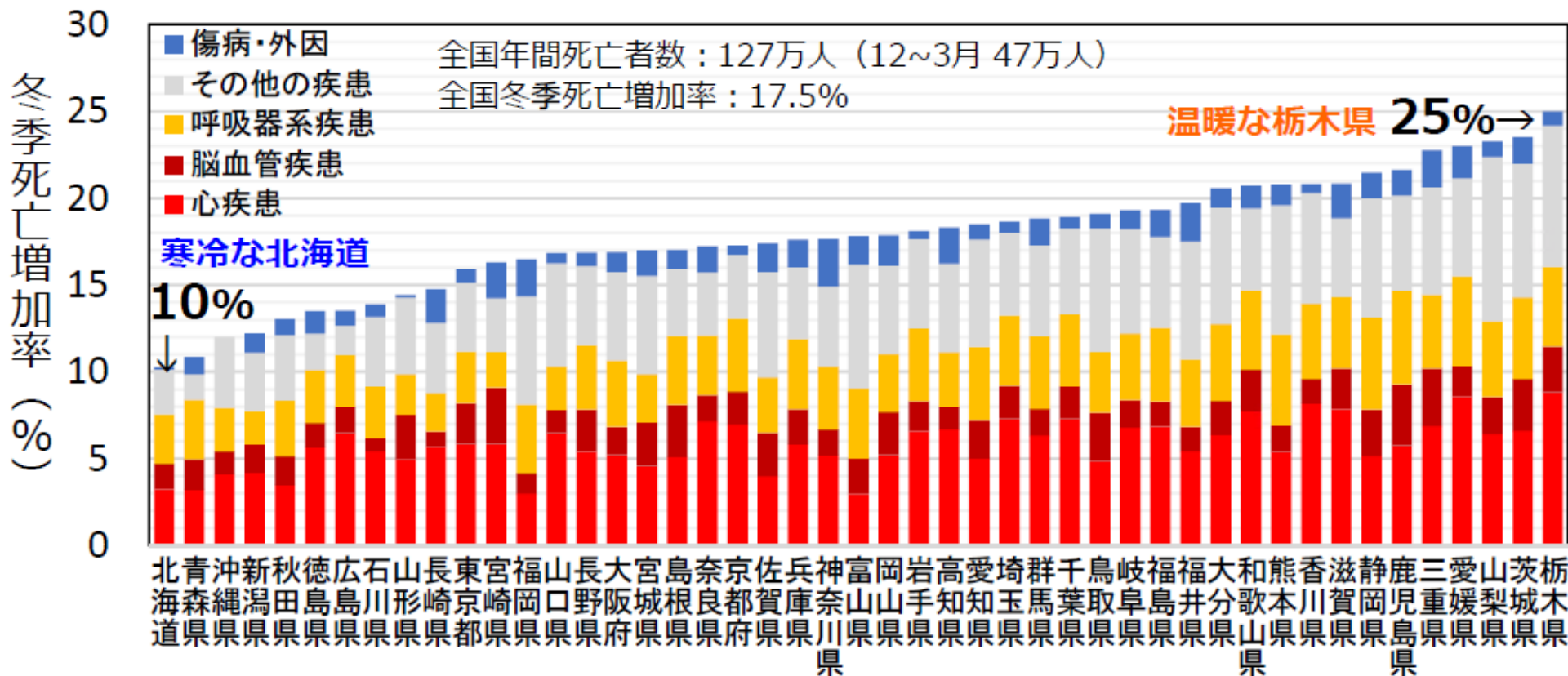
世帯当たりの保有台数: 1.61台(全国5位)
マイカー通勤率は72.2%(平成22年国勢調査)

栃木県(2位)
0.67台/人口





冬季の寒暖差による健康影響の報告例



冬季死亡増加率の都道府県別比較(死因内訳)

厚生労働省：人口動態統計(2014年)都道府県別・死因別・月別からグラフ化

国土交通省：断熱改修等による居住者の健康への影響調査参考資料より



3 ライフスタイル変革に向けた取組

栃木県のこれまでのCOOL CHOICE

「COOL CHOICE とちぎ」共同宣言



「COOL CHOICE とちぎ」 共同宣言

私たちは、「2030年度までに温室効果ガス排出量26%削減(2013年度比)」という目標達成のため、国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」に賛同し、オールとちぎ体制で地球温暖化対策を推進します。

このとちぎ発の取組を、「COOL CHOICE とちぎ」県民運動として積極的に展開し、温室効果ガス排出量を着実に削減させるとともに、とちぎの豊かな環境と安心して暮らせる社会を次の世代に引き継いでいきます。

平成29年5月22日



栃木県
宇都宮市 足利市 栃木市 佐野市 鹿沼市
日光市 小山市 真岡市 大田原市 矢板市
那須塩原市 さくら市 那須烏山市 下野市 上三川町
益子町 茂木町 市貝町 芳賀町 壬生町
野木町 塩谷町 高根沢町 那須町 那珂川町

※COOL CHOICEとは、家庭用省エネ家電の普及促進のため、身近な生活の中で、本来のために、省エネ・省電の「ふるまひ」、「サービス」、「行動」など、温暖化対策に関するあらゆる「賢い選択」を指し、一人ひとりに促す取組。

省エネ家電買換え促進キャンペーン



女子大生による女子高生への普及啓発



クールシェアスポット等での普及啓発





「COOL CHOICE とちぎ」推進チーム



推進チーム

情報発信WG

住宅／家電WG

次世代自動車WG

令和元年（2019）年6月26日に設置（全国初）

構成：知事（リーダー）、市町、産業界、メディア、学識者、消費者団体など

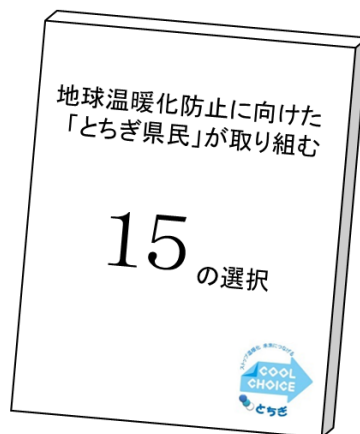
推進チームの成果 ～県民の行動変容に向けて～

- ① 無関心層の取り込み（インフルエンサーの協力、わかりやすい発信）
- ② 対象、契機を絞った発信（行動経済学やデジタルを活用など）

プロスポーツチームとの連携



啓発資材の作成



普及啓発動画

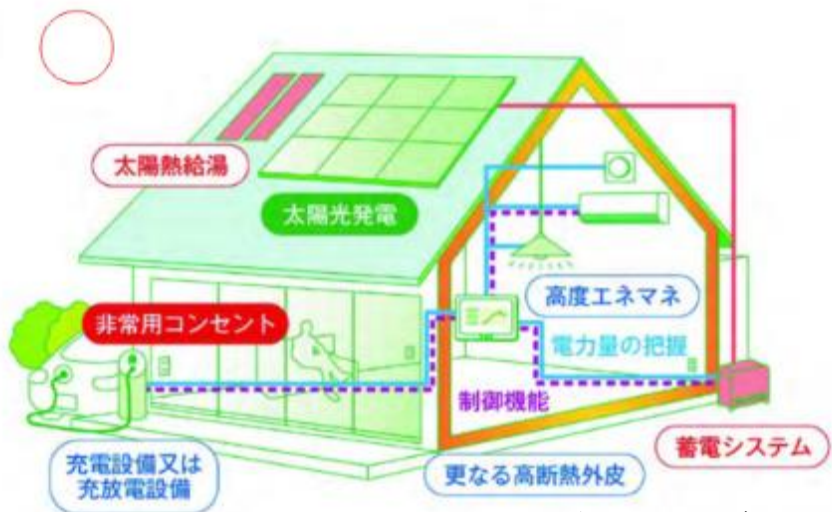


推進チームの成果 ～「住宅」分野で進めていくこと～

- ① ZEH、高断熱住宅等の担い手の育成
- ② 省エネに加えて、健康や防災などの分野との連携

ZEH No.1を目指す地域工務店向けセミナー

別分野と連携した発信



出典：資源エネルギー庁



推進チームの成果 ～「交通」分野で進めていくこと～

- ① 通勤によるCO2排出の削減策の実施
- ② EV等の付加価値（V2H、防災など）についての認知度向上

WPC（ワークプレイスチャージング）の推進



災害時協力者登録制度創設の検討





まとめ

とちぎは、
「クールチョイスNo.1」を目指します。

そのために、

- ・県民の行動変容促進
- ・ZEHをはじめとした住宅の脱炭素化
- ・次世代自動車の普及促進

などに取り組みます。

